## 『ならまち散策』と『興福寺国宝館見学』のご案内

2020年7月 企画委員会



「近鉄奈良駅前 行基像」

新型コロナウイルス問題が根本からに解決されていない、落ち着かない日々ですが、今年度最初の「企画委員会行事」をご案内いたします。

記

日 時 : 2020年7月31日(金)

集合場所: 近鉄奈良駅前 行基像前

集合時間: <A 班>10時30分 (当科 1班 · 2班)

<B 班>11時00分 (当科 3班 ・ 4班)

解散時間: 15時頃の予定

見学ガイド: (1班) 玉尾(ひ) (2班) 玉尾(洋) (3班) 中澤 (4班) 寺尾

見学場所: <A 班> 近鉄奈良駅~餅飯殿通り~奈良町資料館~庚申堂~御霊神社~元興寺塔跡~元興

寺極楽坊~今西家書院~興福寺

<B 班> 近鉄奈良駅~餅飯殿通り~元興寺極楽坊~元興寺塔跡~御霊神社~庚申堂~

奈良町資料館~今西家書院~興福寺

その他:・興福寺国宝館入場料(団体)600円は科負担です

•昼食は、12 時 30 分~13 時頃に「鷺池」周辺です

・前日17時のNHKTV・明日の天気予報で「奈良北」の午前または午後の降水確率が50%以上で中止となります。

\* 見学ルートマップは添付資料をご覧ください

\*ガイドは道案内を主とし、施設等の案内は必要最小限にしたいと思いますので、参加者は事前に配布する資料をご覧になっておいてください。

#### ならまち

ならまちは、世界遺産である元興寺の旧境内を中心とする地域を指します。元興寺の歴史は古く、718年に飛鳥の法興寺(飛鳥寺)が、元興寺の名になり平城京に移されたと言われています。(平城遷都は710年です)

ならまちは平城京の外京にあたり、当時の道筋をもとに発展した長い歴史を持つ町です。江戸時代の末期から明治 時代にかけての町家の面影を今に伝えるならまちは、訪れる人々に安らぎと潤いを与え、時には懐かしささえ感じさ せてくれます。

#### 興福寺国宝館

興福寺に伝わる数多くの国宝・重要文化財を収蔵しており、天平時代の寺宝としては八部衆立像(国宝)、十大弟子立像(国宝)、鎌倉時代のものとしては天燈鬼立像、竜灯鬼立像、金剛力士像(国宝)が挙げられます。

なお、興福寺は藤原氏の祖・藤原鎌足とその子息・藤原不比等ゆかりの寺院で、藤原氏の氏寺であり、古代から中世にかけて強大な勢力を誇りました。

#### 東向き商店街

平城京の外京六坊大路であり、東側はすぐ興福寺の境内となっています。この為、通りの西側にのみ建物が建てられ、すべての建物が東を向いていたため「東向き」と呼ばれるようになったといわれます。その後、興福寺の勢力が衰退すると、通りの東側も建物が建つようになったとのことです。

#### 餅飯殿通り(もちいどのどおり)

餅飯殿という地名は南北朝期からすでに見られる名で、この地名の由来には諸説あり、そのひとつは『はるか昔に東大寺の高僧・理源大師が大峰山の行者を困らせる大蛇退治の勅命を受け、そのお供に名乗り出た箱屋勘兵衛は「餅飯」を持って大峰山に向かい、大蛇退治を成功させた。それにより箱屋勘兵衛は「餅飯の殿」と称号を与えられた』というものです。

#### 庚申堂

「庚申さん」と呼ばれる青面(しょうめん)金剛像が祀られています。この「庚申」さんのお使いの猿をかたどったお守りは、 魔除けとして、よくならまちの家の軒先にぶらさがっていて、災いを代わりに受けていただけることから「身代わり猿」と呼ば れています。また、背中に願い事を書いてつるすと願いが叶うといわれ、「願い猿」とも言われています。

(庚申(かのえさる)とは、十干と十二支の組み合わせでできる60種類の符号のひとつ)

### 御霊神社(ごりょうじんじゃ)

桓武天皇が延暦年間に建立した神社で、非業の死を遂げたといわれる井上(いがみ)皇后、他戸(おさべ)皇太子、早良(さわら)親王、藤原広嗣等八神を祀り、国家の安泰と平安を祈祷していました。

## 元興寺

南都七大寺のひとつ。蘇我馬子が建立した日本最古の本格的仏教寺院である法興寺が平城京に移転し元興寺になったとされます(飛鳥の法興寺は飛鳥寺となって、今も残る)

奈良時代には、東大寺、興福寺と並ぶ大寺院であったが、中世以降次第に衰退し、現在は元興寺と名乗る寺院は3つに 分かれてしまっています。

・元興寺極楽坊 西大寺の末寺で、宗派は真言律宗に属する。本尊は智光曼荼羅

本堂西側の屋根瓦は、飛鳥時代から1300年以上に渡り使用され続けているものとされます。

・元興寺塔跡 東大寺の末寺で、宗派は華厳宗に属する。本尊は十一面観音

・元興寺小塔院 真言律宗の寺院で、境内は元興寺の遺構として史跡に指定されています

## 今西家書院

室町時代の書院作りの遺構。大乗院門跡に仕えた福智院家の居宅を、今西家が譲り受けたものです。

# 『ならまち散策』



ならまち資料館



庚申堂



御霊神社



元興寺



今西家

